

大会名 Competition	第24回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-102	Year Month Day Time 2011 年 5 月 3 日 10 : 30
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B										
明成高校	<table border="1"> <tr><td>19 1st</td><td>30</td></tr> <tr><td>19 2nd</td><td>12</td></tr> <tr><td>16 3rd</td><td>17</td></tr> <tr><td>18 4th</td><td>24</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td></tr> </table>	19 1st	30	19 2nd	12	16 3rd	17	18 4th	24	OT		洛南高校
19 1st	30											
19 2nd	12											
16 3rd	17											
18 4th	24											
OT												
72 ●		83 ○										

主審:Referee
片寄 達 (宮城県)
副審:Umpire
疋田 晋 (秋田県)
テーブル・オフィシャルズ:Table officials
能代工業高校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4		藤井 祐希		-	-	-	-	0	4	×	大元 孝文	CAP	34	4	8	6	0
5	×	金子 大希		0	0	0	0	0	5	×	荒谷 優斗		9	0	4	1	2
6	/	川東 聖司		0	0	0	0	0	6	/	井島 啓貴		0	0	0	0	1
7	/	白戸 文聖		11	3	1	0	3	7	×	木澤 義柳		7	0	3	1	1
8	/	森川 文弥		14	4	1	0	5	8	/	清水 久能		0	0	0	0	0
9	×	宮本 滉希		0	0	0	0	3	9	/	伊藤 諄哉		4	0	1	2	0
10	×	岩田 裕介	cap	9	3	0	0	1	10	/	河合 祥樹		3	1	0	0	0
11	×	中村 優斗		0	0	0	0	1	11	/	伊藤 達哉		7	0	3	1	1
12	/	柳川 知之		0	0	0	0	1	12	×	仁平 拓海		6	0	3	0	2
13	/	市原 大臣		4	0	2	0	0	13	×	宮脇 隼人		7	0	3	1	0
14	×	森 知史		13	0	4	5	2	14	/	成田 穂高		0	0	0	0	0
15	/	高柳 紗万		10	0	5	0	3	15	/	寺部 亮佑		6	0	2	2	0
16	/	齋藤 巧己		11	1	4	0	3	16	/	西戸 良		0	0	0	0	0
17	/	山崎 友斗		0	0	0	0	0	17	/	森井 健太		0	0	0	0	0
18		本間 翔太郎		-	-	-	-	0	18		渡部 裕地		-	-	-	-	0
コーチ		佐藤 久夫							コーチ		吉田 裕司						
									コーチ		作本 信夫雄						
合計				72	11	17	5	22	合計				83	5	27	14	7

※×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1Q、両チームともにマンツーマンディフェンスでスタート。出だし洛南は#13宮脇のバスケットカウントを皮切りに、インサイドにボールを集め、攻撃を仕掛ける。一方、明成は、#8森川の連続3P、#14森のゴール下で応戦するが、ターンオーバーもあり、なかなかリズムをつかめない。洛南は#4大元の内外角の多彩な攻撃で加点し、1Qは19-30と洛南がリードを奪う。

第2Q、明成は#14森、#15高柳を中心にオフェンスを展開し、そこから#16齋藤、#7白戸らが3Pを決め、徐々に差を詰めていく。6分過ぎ、たまたま洛南はタイムアウトを取る。明成は粘り強いディフェンスで更に洛南を苦しめ、シュートチャンスを与えず38-42と追いすがり、前半を終了。

第3Q、洛南はリバウンドから#5荒谷、#12仁平がゴール下に走りこんでペースを掴み、55-45と再び主導権を戻す。対する明成はタイムアウトを取り、#5金子が冷静にゲームメイクし、#10岩田#15高柳がシュートを決め、一進一退の攻防が続く。3Qは54-59、5点差で終了。

第4Q、両チームとも激しくボールにプレッシャーを与え、見ごたえのある展開となる。明成は#14森が果敢にゴール下に切り込み、フリースローを次々と沈める。洛南も負けじと#11伊藤のドライブイン、#4大元のジャンプシュートなどで一歩も譲らない。明成のタイムアウト、後残り4分から洛南は、#13宮脇がゴール下で踏ん張り、さらに#10河合の3Pなどで67-76と引き離す。明成も得意の外角からのシュートで食い下がるが、確実にゴール下を支配した洛南が、結局72-83で逃げ切った。